

東日本大震災復興支援芸能公演

平成23年 **10月9日(日)**

鎌倉宮境内 特設舞台 (鎌倉市二階堂154)

昼の部 13時30分開演 (12時45分開場)

夜の部 17時30分開演 (16時45分開場)

各部 3,000円 (昼夜通し料金=5,500円)

※必要経費を除き雄勝法印神楽保存会への支援金としますので、雨天等中止時入場料の払い戻しはいたしません。予めご了承下さい

定員:各部 800人 (全席指定 / 3歳以上有料)

備考:雨天の場合は鎌倉宮太平殿(屋内)にて実施します。チケット提示で観覧できますが収容人数が限られていますので、2演目(約1時間)を入れ替え制で観覧する方法とします。当日、会場で雨天特別整理券をお渡しします。(整理券は昼の部は12時半~、夜の部は16時半~配布します)尚、観覧できるように万全を尽くしますが、入場できない場合もあります。※公演時間、演目は変更する場合もございます。予めご了承下さい。

in 鎌倉宮 雄勝法印神楽

おがつほういんかぐら

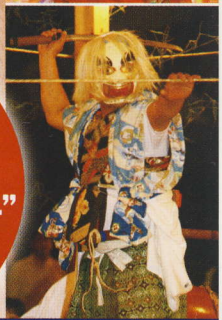
鎌倉芸術祭 宮城県石巻市
国指定重要無形民俗文化財

出演 雄勝法印神楽保存会 (宮城県石巻市)

同時開催

石巻市名産品
“復興支援コーナー”

※詳細は裏面を
ご覧ください



夜の部

舞台清め祝詞
橋引(はしひき)

鬼門(きもん) / 蛭児(ひるこ) / 日本武尊(やまとたけるのみこと)

昼の部

舞台清め祝詞
道祖(どうそ)

岩戸開(いわとひらき) / 産屋(うぶや)

六百年の鼓動を受け継ぎ
未来に向けて舞う!

湘南リビング新聞社 ☎0466-27-7411 ●受付時間 平日 10:00~17:00 (土日祝休)

プレイガイド ■島森書店(鎌倉店) ☎0467(22)0266 ■キムラ保険サービス大船店 ☎0467(43)0111 ■ヤマハ藤沢ショップ ☎0466(27)0231

■銀美堂(辻堂駅前) ☎0466(36)5131 ■川上書店茅ヶ崎ラスカ文具部 ☎0467(87)3826 ■銀座山野楽器平塚ラスカ店 ☎0463(27)1930

■イープラス <http://eplus.jp/> ■ローソンチケット ☎0570(000)407 (オペレーター 10:00~20:00) / ロッピーも可 (Lコード:33094)

主催:湘南リビング新聞社・雄勝法印神楽鎌倉公演実行委員会 共催:鎌倉市観光協会

後援:鎌倉市・石巻市・石巻観光協会・産経新聞社・サンケイリビング新聞社・仙台リビング新聞社

協力:大塔宮鎌倉宮・独立行政法人日本芸術文化振興会・公益社団法人日本ユネスコ協会連盟・鎌倉ユネスコ協会

申込み・問合せ

鎌倉芸術祭 宮城県石巻市
国指定重要無形民俗文化財

雄勝法印神楽 in 鎌倉宮

六百年の鼓動を受け継ぎ未来に向けて舞う

出演：雄勝法印神楽保存会(宮城県石巻市)

「雄勝法印神楽」は、宮城県石巻市雄勝町に室町時代から伝わる伝統芸能で、およそ600年の歴史を刻んでいます。その内容は、主に「日本書紀」「古事記」の神話を基に構成されています。登場人物は天照大神(あまてらすおおみかみ)、素戔嗚尊(すさのおのみこと)、日本武尊(やまとたけるのみこと)等の神々です。躍動感に溢れた豪快で勇壮な舞を伝える一方で、アクロバティックな動きや滑稽な所作など見る人を楽しませる娯楽性に富んだ神楽です。今回会場となる鎌倉宮のご祭神は、建武中興の折に活躍した護良親王です。現在の鎌倉宮のある場所で生涯を終えられたと伝えられていますが、奥州石巻に落ち延びたという伝説もあります。そのような縁のある会場での奉納の舞を東日本大震災からの復興への一歩としてご支援ください。



昼の部(13時30分～)

舞台清め祝詞

夜の部(17時30分～)

舞台清め祝詞

道祖 どうそ

高天原より降臨した邇邇芸尊を葦原の中津国へ道案内したことから、導きの神と呼ばれる猿田彦尊の舞。地舞の神楽としては最高の神楽で、神楽通が好んで見る神楽と言われています。

岩戸開 いわとひらき

弟の素戔嗚尊が高天原の平和を乱された天照大神は天岩戸に籠ってしまいます。八百万の神々は、大神に何とかして出てきてもらおうと皆の協力と知恵をもって、無事岩戸から出てきて頂くことに成功しました。

雄勝法印神楽でもっとも重要とされている舞で祭典での神楽奉納では必ず舞うこととされています。

産屋 うぶや

「決して見ないで…」と産屋に入る豊玉姫。彦火火出見尊はつい覗いてしましますが…子別れのシーンが悲しみを誘う人気の高い舞です。

橋引 はしひき

「有馬明神境内の杉の木を乙鶴御前という里の乙女に曳いてもらえばうまく橋がかかる」とのお告げによって見事に橋がかかるという話を、ユーモラスな所作で演じる舞です。

鬼門 きもん

様々な禍を打ち払う素戔嗚尊ですが、世の中には目に見えない禍もたくさんあります。この舞では鬼門の方位から張られた綱を切ることで禍を打ち払います。複雑な所作の堂々とした舞です。

蛭児 ひるこ

西宮の祭神の舞です。地元では鯛釣りや恵比寿舞などと呼ばれています。この舞で使用した鯛のキリコは大漁充滿高売繁盛の縁起物とされ、漁師町ではキリコを貰おうと行列をなします。

日本武尊 やまとたけるのみこと

女が天叢雲剣を盗み、罪を尊に着せようとします。女の正体が悪鬼だと知った尊は、退治して宝剣を取り戻します。荒型舞を代表する、非常に人気の高い舞です。



同時開催

石巻市名産品“復興支援”コーナー

- 雄勝硯の販売：全国一の生産量を誇る雄勝硯は鋒鋭(ほうぼう)荒く細かく、ほどよい堅さと柔らかさ、そして豊かな光沢となめらかな石肌は、中国の名硯に優るとも劣らない逸品と賞されています。雄勝硯の歴史は古く、約600年前の室町時代に遡るといわれています。昔ながらの手づくりの製法により、硯工人が腕ひとつで丹念に彫り上げています。
- 漫画家・岡野玲子さんの描いた「雄勝法印神楽」の絵を手拭いにしたものを記念販売。
- その他：被災した希望の缶詰(木の屋石巻水産)の販売等。

※雨天の場合は鎌倉宮太平殿(屋内)にて実施します。チケット提示で観覧できますが収容人数が限られていますので、2演目(約1時間)を入れ替え制で観覧する方法とします。当日、会場で雨天特別整理券をお渡します。(整理券は昼の部は12時半から。夜の部は16時半から配布します)尚、観覧できるように万全を尽くしますが、入場できない場合もあります。予めご了承ください。



絵：岡野玲子さん(漫画家)

2011年10月9日(日)

昼の部：13時30分開演(12時45分開場)

夜の部：17時30分開演(16時45分開場)

入場料金：各部3,000円/昼夜通し料金5,500円

※3歳以上有料 ※必要経費を除き雄勝法印神楽保存会への支援金としますので、雨天中止時入場料の払い戻しはいたしません。予めご了承ください。

【催しに関する注意事項です。必ずお読みください】

- 座席はすべて指定ですが、位置の希望はお受けできません。
- 入場券の販売は売り切れをもって締め切りとさせていただきます。
- 入場券購入後の変更は一切できません。
- ペット連れでの入場はできません。
- 会場内での撮影、録音はできません。
- 公演時間、演目は変更する場合がございます。
- 駐車場の用意はありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

交通のご案内

電車

- JR横須賀線 鎌倉駅東口下車 徒歩30分
- 江ノ島電鉄 鎌倉駅下車 徒歩30分

バス

- 鎌倉駅 東口から京急バス 鎌20・4番大塔宮行き 大塔宮下車

※公共の交通機関をご利用ください

